

# 平成29年度地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業について

## I. 事業の趣旨

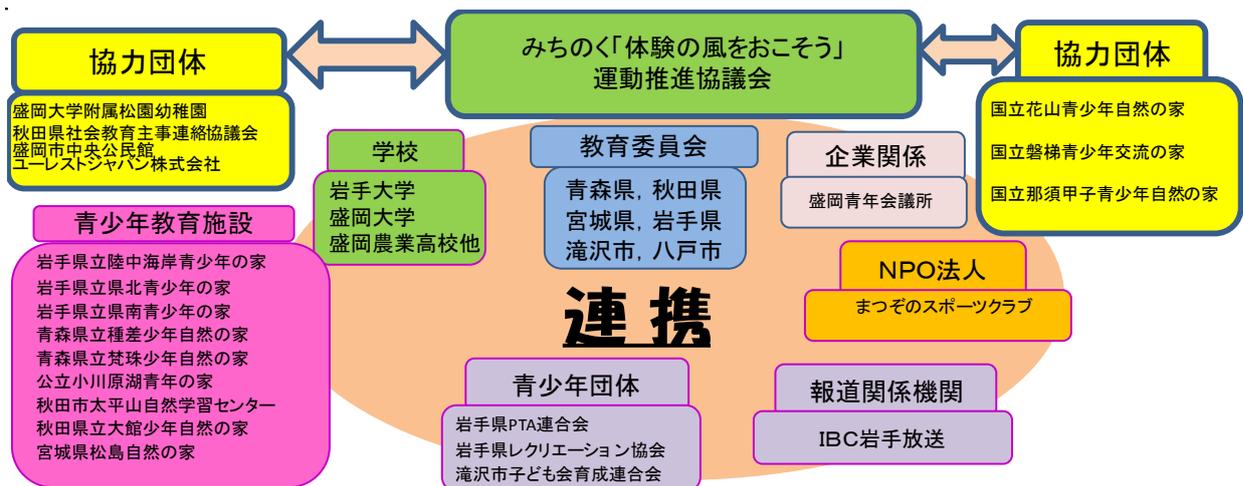
近年、社会が豊かで便利になる中で、子供たちの自然体験、社会体験、生活体験などの体験が減少している。このため、東北地区において子供たちに自然体験や生活体験などの体験活動を提供するとともに、関係機関と連携を図りながら体験活動を推進する機運を高める取組などを実施し、「体験の風をおこそう」運動を普及、推進することを目的としている。

当交流の家では、外部有識者で組織する「みちのく「体験の風をおこそう」運動推進協議会」を組織し、独立行政法人国立青少年教育振興機構から本事業を受託し実施した。

## II. 受託期間

平成29年5月18日～平成30年3月20日

## III. 実施体制



## IV. 事業概要

### 1 「体験の風をおこそう」運動を普及・啓発する取組

(1) 岩手県、青森県、秋田県、宮城県の公民館等に「体験の風をおこそう」運動の趣旨を説明するとともに幟旗の設置を依頼し、要望に応じ「子どもゆめ基金」の説明会を開催した。

(各県の社会教育主事会議等で説明を行い、幟旗を配布し設置を依頼した。)

#### ① 公民館、社会教育施設等訪問

- ・ 岩手県（5か所）西和賀町文化創造館銀河ホール、北上市岩崎地区交流センター、金ヶ崎町子育て支援課、平泉町教育委員会、平泉町公民館
- ・ 青森県（8か所）青森県総合社会教育センター、青森市教育委員会社会教育課、青森県教育庁生涯学習課、青森県体育協会、つがる市森田公民館、板柳町板柳公民館、田舎館中央公民館、青森県立梵珠少年自然の家

- ・秋田県（5か所）秋田県立岩城少年自然の家，大仙市協和市民センター，  
秋田県立農業科学館，大仙市仙北公民館，大仙市中仙公民館

② 各県社会教育主事会議参加

- ・岩手県（2回）岩手県社会教育主事等会議  
平成29年4月6日（木）～7日（金）・平成30年2月7日（水）
- ・青森県（1回）青森県社会教育主事会議  
平成29年5月12日（金）
- ・秋田県（2回）秋田県生涯学習・社会教育関係職員会議  
平成29年4月11日（火）・平成30年2月2日（金）
- ・宮城県（2回）宮城県生涯学習・社会教育主管課長等会議  
平成29年4月24日（月）・11月17日（金）

③ 子どもゆめ基金説明会の開催（3か所）

- ・青森県青森市会場（14名参加）平成29年10月12日（木）
- ・秋田県秋田市会場（19名参加）平成29年10月2日（月）
- ・岩手県盛岡市会場（21名参加）平成29年10月16日（月）

(2) 「体験の風をおこそう」運動推進委員会構成団体の地方組織等の事業に次の事項を依頼した。

- ① 『「体験の風をおこそう」運動協賛事業』の冠を付すこと。
- ② 事業チラシに「体験の風をおこそう」運動のロゴ等を印刷すること。

2 保護者や指導者が子供たちの体験活動の重要性について理解を促進する取組

(1) 本運動を推進する事業への本協議会委員等を派遣し，体験活動の重要性について説明をした。

- ① 岩手県青少年健全育成県民会議「青少年育成セミナー」 7月13日（木）
- ② 岩手県公民館大会 7月14日（金）
- ③ 盛岡市PTA連合会 12月1日（金）
- ④ 秋田県公民館大会 9月29日（金）
- ⑤ 滝沢市子供会育成連合会 5月14日（日）
- ⑥ センター・公民館職員等研修 12月6日（水）
- ⑦ 管内生涯学習・社会教育担当者会議 11月2日（木）
- ⑧ 管内教育振興運動推進研修会 6月27日（火）
- ⑨ センター・公民館職員等研修 8月25日（金）
- ⑩ 管内社会教育主事等会議 12月15日（金）
- ⑪ 社会教育係長等会議 2月15日（木）
- ⑫ 管内社会教育担当者会議 7月7日（金）
- ⑬ 秋田県社会教育主事等研修会・北地区社会教育関係職員第2回研修会 8月10日（木）

(2) 公民館、公立青少年教育施設等の事業に参加し、体験活動の重要性の啓発を図る。

- ① 岩手県立県北青少年の家、岩手県立県南青少年の家、岩手県立陸中海岸青少年の家、施設連携事業「親子 de チャレンジ」 9月30日(土)～10月1日(日)
- ② 宮城県蔵王野鳥の森自然観察センター「秋の恵みをいただき「秘密基地」を作ります」(生物多様性プログラム) 10月7日(土)
- ③ 秋田市太平山自然学習センター「まんたらめちびっこキャンプ」 10月8日(日)～10月9日(月)
- ④ 盛岡市中央公民館「わくわく盛岡チャレンジクラブ」 12月9日(土)
- ⑤ 松島自然の家「おいSEA! 冬の奥松島」 12月10日(日)
- ⑥ 青森県立種差少年自然の家「子どもの祭典『わくわくどきどきウィンターキャンプ』」 12月25日(月)～12月27日(水)
- ⑦ 岩手県立県北青少年の家「ステラパル冬遊塾」 平成30年1月9日(火)～1月11日(木)
- ⑧ 青森県立梵珠少年自然の家「冬にとびだそう～親子で白銀の世界へ～」 平成30年1月20日(土)～1月21日(日)
- ⑨ 岩手県立県南青少年の家「冬のおもしろ体験ランド」 平成30年1月27日(土)～1月28日(日)
- ⑩ 公立小川原湖青年の家(青森県)「冬の自然体験教室」 平成30年2月10日(土)～2月11日(日)
- ⑪ 秋田県立大館少年自然の家「冬の自然観察会 in 森吉山」 平成30年2月17日(土)
- ⑫ 岩手県立陸中海岸青少年の家「第39回陸中海岸剣道スポーツ少年団交歓会」 平成30年2月10日(土)～2月11日(日)

### 3 子供たちに多様な「体験活動」を提供する取組

#### (1) ヴァイオリンとピアノのコンサート

会場：国立岩手山青少年交流の家(参加者：164名)

期日：平成29年6月15日(木)・6月16日(金)

対象：海外から来日し、当交流の家で研修を行っている青少年、地域の心身に障害をもつ近隣施設の通所者、合唱を愛好されている方々

#### (2) いわてサイエンスシンポジウム2017「いわてまるごと科学館」

会場：岩手県民情報交流センターアイーナ(参加者：774名、全来場者3,500名)

期日：平成29年7月17日(月)

対象：小学生・親子

#### (3) 親子鞍掛山登山

会場：鞍掛山(参加者：112名)

期日：平成29年7月22日(土)

対象：小学生以下の子供と保護者

- (4) 「体験の風」出前創作活動教室 inIBC まつり  
 会場：岩手産業文化センターアピオ（参加者：875名、来場者：27,138名）  
 期日：平成29年9月16日（土）・17日（日）  
 内容：IBC祭りに来場した親子、子供たち
- (5) 「体験の風」出前創作活動教室 in 盛農祭  
 会場：岩手県立盛岡農業高等学校（参加者：1,167名）  
 期日：平成29年10月28日（土）・29日（日）  
 対象：盛農祭来場者
- (6) 第2回 JC カップU-11 少年少女サッカー 盛岡フェスティバル  
 会場：つなぎ多目的運動場（参加者：361名）  
 期日：平成29年5月20日（土）  
 対象：大会参加者・関係者・保護者
- (7) みどりのキャンパス・ふれあいフェスティバル  
 会場：岩手県立県南青少年の家（参加者：207名）  
 期日：平成29年9月3日（日）  
 対象：フェスティバル参加者
- (8) スキー・スノーボード体験 in テンパーク  
 会場：国立岩手山青少年交流の家（参加者：①115名 ②81名）  
 （岩手県立県南・県北・陸中海岸青少年の家 3施設協力事業）  
 期日：①平成30年1月20日（土）～21日（日）  
 ②平成30年2月17日（土）～18日（日）  
 対象：小学3～6年生
- (9) 親子で楽しむ自然体験 in 冬のテンパーク  
 会場：国立岩手山青少年交流の家（参加者：147名）  
 期日：平成30年1月27日（土）～28日（日）  
 対象：小学生以下の子供と保護者
- (10) 雪遊び in テンパーク～雪合戦練習会と雪遊び～  
 会場：国立岩手山青少年交流の家（参加者：5チーム86名）  
 期日：平成30年2月11日（土）～12日（日）  
 対象：県内の小中学生スポーツ団体

#### IV 「体験の風をおこそう」運動推進月間における「事業エントリー」と「子ども体験遊びリンピック」の実施依頼

- (1) 公民館や児童館、公立青少年施設、地域の子ども会や放課後児童クラブに働きかけた。
- (2) 児童養護施設に「子ども体験遊びリンピック」の実施を働きかけた。  
 平成29年度エントリー数（青森・岩手・秋田・宮城4県）「体験の風をおこそう推進月間事業」1,236件（前年度607件）

## V その他、「体験の風をおこそう」運動を推進するための取組

- (1) 本運動のロゴマーク、岩手山青少年交流の家の独自のクリアファイルを作成し、教育事業参加者や本運動推進のため訪問した公民館へ配布した。「早寝早起き朝ごはん」国民運動に関する普及・啓発事業については、教育事業「テンちゃん一家の一週間」で参加児童に徹底したほか、事業参加者や研修支援団体に普及した。
- (2) 東北地方の国立青少年教育施設4か所が連携し、施設開放事業や地方自治体へのさらなる普及を図った。
  - ① 国立那須甲子青少年自然の家「なすかしの森ファミリーフェスティバル」10月29日(日)
  - ② 国立磐梯青少年交流の家「第1回いなわしろフェスティバル 秋」  
10月21日(土)～22日(日)
  - ③ 国立花山青少年自然の家「花山フェスティバル」 10月14日(土)～15日(日)
  - ④ 国立岩手山青少年交流の家「テンパークまつり2017」 9月24日(日)

## 5. 事業の成果

- 1 岩手県、青森県、秋田県、宮城県の主要公民館等を直接訪問し、「体験の風をおこそう」運動の趣旨を説明するとともに幟旗の設置を依頼したことにより、北東北4県の「体験の風をおこそう」運動に対するより一層の理解を深めることができた。「体験の風をおこそう」運動強調月間(9～11月)の4県のエントリー数が飛躍的に増えた。
- 2 親子で楽しむ事業として、親子鞍掛山登山を7月22日(土)の日帰りで実施し、親子で楽しむ自然体験IN冬のテンパークを平成30年1月27日(土)～28日(日)に、1泊2日で行った。岩手県内在住の親子に岩手山青少年交流の家で提供できる体験を楽しむことができた。県内の様々な地域の親子が体験をとおして交流を深めた思い出多い事業となった。
- 3 小学3～6年生に向けて、スキー・スノーボード体験 in テンパークを平成30年1月20日(土)～21日(日)、2月17日(土)～18日(日)、1泊2日で2回実施した。また、本施設では初めてとなる、雪遊び in テンパーク～雪合戦練習会と雪遊び～を県内の小中学生スポーツ団体に向け、平成30年2月11日(土)～12日(日)に1泊2日で行った。いずれも、ウィンタースポーツに親しみながら、健やかな成長と豊かな人間性を育てるとともに、「体験の風をおこそう」運動に対する気運を高めることができた。
- 4 岩手県青少年健全育成県民会議等の本運動を推進する団体やその団体が行う事業に出向き、保護者や指導者に子供たちの体験活動の重要性について説明を行ったことにより、団体の下部組織まで「体験の風をおこそう」運動を推進することができた。
- 5 民間や公立施設、公民館等と共催し、連携して事業に参加することにより、参加者やその地域に「体験の風をおこそう」運動のさらなる普及をすることができた。

## VI. 今後の展開

### 1 普及・啓発の強化

これまで、青森県、岩手県、宮城県、秋田県の全市町村の教育委員会及び主要公民館への普及・啓発活動を行ってきた。今後も、各地域の教育委員階・公民館等への普及・啓発を行い、

北東北地域での更なる普及・啓発を推進する。

## 2 連携協力の拡大による多様な体験の場の提供

各地域の企業・団体等との交流を増やしていくと共に、連携・協力体制を図れるよう取り組んでいく。また、各地コンベンション協会，NPO法人，商工会議所，商工会，青年会議所等とのネットワークを作り生かすと共に，公立青少年教育施設，高等教育機関，児童養護施設等とも連携を図り，「体験の風をおこそう」運動の啓発活動と多様な体験の場を提供していく。